

「いわて震災津波アーカイブ～希望～」を活用した授業 学習指導案

場 所 西和賀町立湯田小学校 体育館

学 級 湯田小学校6年生

指導者 森本晋也（岩手大学）

菅原智章（湯田小学校）

1 目標

- (1) 東日本大震災津波に関する資料保存についての意義や、「いわて震災津波アーカイブ～希望～（以下、「アーカイブ）」の活用方法を理解することができる。
- (2) アーカイブを活用して、東日本大震災津波について調べ、震災津波の教訓から自分たちに生かせることを考え、今後の防災の学習への関心を高める。

2 学習内容

- ・ アーカイブの意義と活用方法について学ぶこと
- ・ 東日本大震災津波の様子を調べること
- ・ 震災津波の経験から自分たちに生かせることを考えること

3 展開案

	学習内容・活動	指導上の留意点
導入 [7分]	<p>○夏季休業中の防災マップづくりの学習を振り返る。[菅原]</p> <p>○アーカイブを活用して、日頃の防災学習や避難訓練の大切さを学ぶ。[森本]</p> <p>○学習課題を把握する。[菅原]</p> <p><b>【学習課題】</b></p> <p>「アーカイブ～希望～」を使って、東日本大震災の様子を調べ、これからの自分たちに生かそう。</p>	<p>・ これまでの防災の学習と本時を関連づける。</p> <p>※心のケアに関わって、事前に配慮の必要な児童がいるかどうかの確認を行う。配慮が必要な児童がいる場合には、予め学習内容を伝え、該当児童及び保護者と学習への参加について相談する。</p>
展開(1) [15分]	<p>○アーカイブが作成された目的について理解する。[森本]</p> <p>○学校で支援を行っている吉里吉里小学校のある大槌町の被災の状況をアーカイブで調べる。[森本]</p>	<p>・ アーカイブが作成された目的と、収録されている資料を簡潔に説明する。</p> <p>・ 学校で行っている復興教育と関連させながら学習を進める。</p> <p>・ 指導者が閲覧するコンテンツを指示しながら、アーカイブの活用方法を学習させる。</p>

	<p>○アーカイブのピックアップコンテンツの「【児童・生徒用】震災津波から学ぼう」を簡単に紹介する。[森本]</p> <p>○アーカイブの「テーマから探す」の「そなえ」や「結いの力」等のコンテンツを自由に閲覧し、アーカイブの操作方法や収録されている資料について知る。[森本・菅原]</p>	<p>・本時ではアーカイブの意義を確認し、「テーマから探す」のコンテンツを中心に閲覧する。「詳細検索」については触れない。</p>
<p>展開(2) [15分]</p>	<p>○アーカイブの「結いの力」の「避難」に収録されている新聞資料「被災地の子 奮闘」から、震災津波の時、当時の小・中学生が避難所でみんなのために行っていたことを調べ、分かったことをワークシートに記入する。[森本・菅原]</p> <p>○班内で調べて分かったことを交流する。[菅原]</p>	<p>・アーカイブに収録された20万点の資料から必要な情報を収集できる技能を身に付けるためには、段階的に学習していく必要がある。本時では、「テーマから探す」に収録されている新聞資料を活用して調べさせる。</p>
<p>まとめ [8分]</p>	<p>○本時の学習を振り返り、これからの自分たちに生かせることや感想等をワークシートに記入する。[菅原]</p> <p>○全体で交流する。[菅原]</p>	

#### 4 評価の観点及び方法

- (1) アーカイブの意義と活用方法を理解することができた。(授業の様子、ワークシート)
- (2) 東日本大震災津波の経験を調べ、自分たちに生かせること、参考になることを考えることができた。(授業の様子・ワークシート)
- (3) 現在行っている地域の防災に関する学習についての意欲を高めることができた。(授業の様子・ワークシート)